

ご協力ありがとうございました 平成16年佐渡市役所災害義援金活動

昨年は、新潟県民として今までに経験したことのない大災害の一年でした。

この災害により尊い命が奪われ住家が被災し、現在被災地では復旧に向けて懸命な努力が続けられています。

被害を受けられた方々の一日も早い生活復興をお祈りします。

さて、市民の皆様には個人、団体を問わず多くの方々から、被災地復興のための義援金募金活動にご協力いただき、厚くお礼申し上げます。

新潟県中越大震災義援金の受付は平成16年12月28日をもって終了し、ここに昨年中の募金総額内訳を報告します。

新潟県中越大震災義援金

計 7,657,999円

佐渡市役所会計課窓口 [(会社及び各種団体) 佐渡市役所内、佐渡市消防含む]	6,287,181円
佐渡市役所各支所窓口募金箱	299,230円
佐渡市赤十字奉仕団及び各種団体による街頭募金	361,176円
佐渡市立各小学校、中学校及び各地区こども会募金	710,412円

新潟県梅雨前線豪雨被害義援金

計 2,151,115円

佐渡市役所内、佐渡市消防	1,392,468円
佐渡市役所各支所窓口募金箱	91,345円
佐渡市赤十字奉仕団街頭募金	321,854円
会社及び各種団体	274,950円
佐渡市立各小学校、中学校及び各地区こども会募金	70,498円

福井豪雨災害義援金

計 27,685円

佐渡市役所各支所窓口募金箱	27,685円
---------------	---------



*今回、佐渡市内の全小、中学校（小36校、中16校）では様々な募金活動をしていただきました。ここに掲載した募金の他にも、新潟県小学校児童見舞金規定、新潟県中学校生徒災害見舞金規定による募金活動が児童会等で行われ、被災した児童生徒に見舞金として贈呈されました。

新潟県小学校児童見舞金	新潟県梅雨前線豪雨被害義援金	624,602円
新潟県中学校生徒災害見舞金	新潟県中越大震災義援金	535,432円
	新潟県梅雨前線豪雨被害義援金	410,550円

*ここに掲載した義援金は、配分委員会に集約され配分計画を審議・決定し、直接被災された方々へ届けられます。

義援金の流れ
義援金受付団体
新潟県
日本赤十字社新潟県支部
新潟県共同募金会
報道機関



新潟県中越大震災義援物資の受付について(お礼)

昨年は、新潟県中越大震災により被災された方々に市民の皆様から多くの義援物資のご寄付をいただき厚くお礼申し上げます。
物資は12月22日に新潟県災害対策本部へ移送し、今後長期化する被災者の方々の避難生活で使用されます。
ここに主な物資一覧を報告します。ご協力ありがとうございました。

新潟県災害対策本部あて(12月22日発送)

毛布286枚、紙おむつ1,035枚、カイロ6,255個、タオル5,394本 他綿毛布、夏蒲団、タオルケット、冬用防寒具、洗剤、紙皿、紙コップ、ティッシュ、石鹸、ゴミ袋等多数

聖母乳児院・聖母愛児園あて(見附市)(12月6日発送)

カップ麺284個、飲料水139本、ミルク7缶、缶詰39個 他非常食等

トキ野生復帰にむけて②

今、佐渡島では、国や新潟県をはじめ、市民、ボランティア団体、県内外の大学機関など様々な人たちにより、トキの生息環境の整備を図る取り組みが行われています。

環境省、農林水産省、林野庁および国土交通省では、トキの餌資源の現存量や生息環境の把握、生態系の修復・再生に係る整備手法等の検討を今年度中に行った上で、トキの野生復帰に必要な生息環境の整備に取り組みます。

新潟県や佐渡市でも「新潟県トキ野生復帰推進本部」、「佐渡市トキ野生復帰実行計画推進本部」を設置し、豊かな自然の中で「トキの舞う島・佐渡」の再現を目指すため、国との強い連携のもと、市民の理解と合意を図りながら、トキの野生復帰に向けた取り組みを積極的に推進することとしています。

既に新潟県佐渡地域振興局では、平成20年に予定されているトキの放鳥に向け、次のような事業に取り組んでいます。

第2回 テーマ

「トキの生息環境再生の取組み」

1 トキ営巣木等保全整備事業

トキがかつて営巣していたマツが、古い虫被害の拡大により減少していることから、松くい虫被害の拡大防止と松林の保全を図るための取り組みとして、伐倒駆除、マツの樹幹注入、松くい虫の活動を抑制する薬剤、松林の健全な育成を図るための不用木、不良木の除去等を所有者の了承のもとに実施しています。

2 生態系保全型 水田整備推進事業

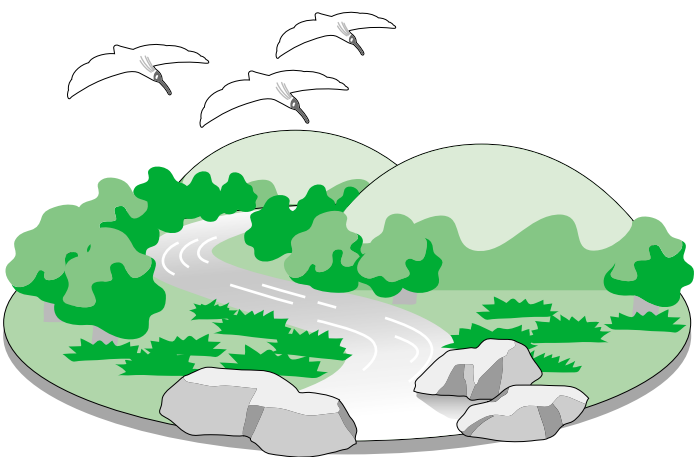
コンクリート製の用排水路、水田、河川等の間における不連続性の要因から、水生生物の移動や生息等に支障が生じています。

環境保全型農業の取り組みや、健全な生態系を確保する水田整備のあり方について、市民、行政、専門家等で検討を行うとともに、生態系の実態調査、住民意向調査、合意形成活動、生態系保全工法によるモデル工事の実践・評価、維持管理の点検・検証等に取り組んでいます。

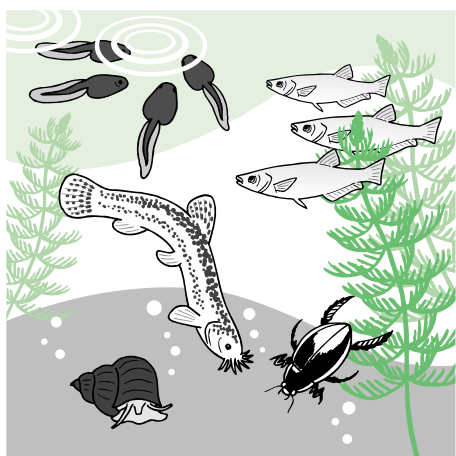
3 トキの野生復帰に向けた川づくり

今日の治水、利水および災害の防止を目的とした河川整備が進んだ結果、草の生えた水際や浅場、湿地等が減少するとともに、上流と下流の連続性の低下による水生生物の移動阻害が生じています。

健全な生態系が確保できる川づくりを行うため、学識経験者等で構成する委員会等において、整備方策等の検討を行っています。



(新潟県佐渡地域振興局)



トキの野生復帰は、私たちが取り巻く環境において、ドジョウやメダカ、タナゴ、ゲンゴロウなど、たくさん生き物が生息しているような健全な生態系を確保し、維持することが基本となります。

しかしながら、今日、トキをはじめメダカ等身近な存在であった多くの野生動物植物が絶滅の危機に瀕しています。多様な生物は、生態系の中でそれぞれ役割を担い、相互に影響しあい、人間の生存にとっても欠かすことのできない生態系のバランスを維持しています。また、多様な生物とそれを中心として構成される多様な生態系は、様々な恵みを人間にもたらすとともに、全ての生物が生存するための基盤となっています。

健全な生態系を維持・回復し、トキの野生復帰を推進することは、このように自然と人間との関わりを目指すこととなります。